

第 34 回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 総務省消防庁・全国消防長会

Pride of RESCUE

2005 SAITAMA



2005年8月25日

会場 岩槻文化公園・県営大宮公園水泳場



「Pride of RESCUE」をスローガンに、第三四回全国消防救助技術大会が去る八月二十五日、さいたま市の岩槻文化公園及び県営大宮公園水泳場において、多くの来賓を迎えて盛大に挙行政した。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和四十七年から毎年開催しているものである。

平成一五年四月一日、全国で一三番目の政令指定都市となったさいたま市が本大会を開催するのは初めてであり、開催地では、希望（ゆめ）のまち「さいたま市」を全国にアピールするとともに、市民とふれあい、市民を暖かく包みながら共に発展、消防の輪（和）を広げ融和していくことを目的とした「市民融和型」の大会を目指し、全国の消防職員・さいたま市民が共感できる大会を開催した。

この大会はさいたま市消防局の主管のもと、県内各消防本部をはじめ、地元消防団員、高校生・大学生ボランティアの多数の参加をいただき、会場内には「さいたま市消防フェア二〇〇五」も併設され、消防防災体験コーナーや資器材展示等も設けられた。

さて、大会当日は台風一一号の接近による悪天候の中ではあったが、一般の方や消防関係者など約一〇、〇〇〇名が早朝より全国各地から駆けつけ、開会前から熱気と興奮に包まれ、隊員たちが繰り広げる熱き大会が始まるのを今が今かと待ち構えていた。

午前九時、さいたま市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせて、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された七八九名の精鋭たちが堂々とした入場行進を行い、開催地消防長である中村さいたま市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた。続いて大会会長である関口（財）全国消防協会会長、相川さいたま市長のあいさつ、板倉消防庁長官、上田埼玉県知事、鶴崎さいたま市議会議長の祝辞と続き、多数の方々からの祝電を代表して麻生総務大臣からの祝電が披露された。さらに、大会審判長の正田北九州市消防局長に

よる審判長指示がなされ、出場隊員を代表してさいたま市消防局の中山副士長が力強く隊員宣誓を行った。開会式の後、陸上会場において、さいたま市消防音楽隊による華麗なドリル演奏が披露された。

いよいよ訓練の開始である。全国から選りすぐられた精鋭たちは陸上・水上それぞれの会場において、救助のプロとしての誇りと燃えさがるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露していく。張りつめる緊張、俊敏でしなやかな一糸乱れぬ動き、強靱な体力、時折強く降りつける雨という悪条件との闘い……その懸命な姿に観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

また、水上会場では、厳しい訓練の合間に、クワイ・ハフワ・オ・カブアオカナウバカによる「フラ」が披露された。可愛らしい子供たちのダンスが、張り詰めた隊員と会場を柔らかく和ませていた。

すべての訓練が終了し、未だ熱気と興奮がさめやらぬ中、会場周辺では、隊員たちが健闘を讃え合う姿、再会を誓い合う姿が見られ、全国救助隊員の絆は層強いものとなった。

閉会式では、大会会長である関口会長から「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げます。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、十分な成果をあげられたことと思う。これを一つの契機とし、今後より一層救助技術の錬磨・向上に努め地域住民の負託にこたえられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が中村さいたま市消防局長から次期開催地の鈴木札幌市消防局長に引き継がれ、鈴木札幌市消防局長の次期開催地挨拶の後、開催地消防長である中村さいたま市消防局長が閉会を宣言すると、号砲、紙ふぶきと共に本部テントと訓練塔に「来年は札幌で会いましょう」と幕が出現し、来年の再会を誓い、第三四回全国消防救助技術大会は静かに終了した。

さいたま市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。

挨拶



財団法人 全国消防協会

会長 関口 和重

本日、ここ、さいたま市におきまして、第三四回全国消防救助技術大会を開催いたしましたところ、消防庁長官、埼玉県知事をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開会できますことを厚くお礼申し上げます。

平成一五年四月に、さいたま市が全国で一三番目の政令指定都市となり初めて開催される本大会は、希望のまち「さいたま市」を全国にアピールするとともに、地域の皆様方と全国の消防職員がふれあい融和していくことを目的とされ、地域防災力の向上を目指すことは大変意義深いことであります。

これも一重に開催地をはじめ、さいたま市消防局及び関係機関の皆様方のたゆまぬご尽力の賜ものであり、これまでのご努力に対しまして深く敬意を表します。

さて、この大会は全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識と技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽を図ることを目的として、昭和四七年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良・開発、活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのたゆまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展、充実を遂げ、成果を挙げてまいりました。

しかしながら、地域住民の安全を脅かす各種災害は後を絶たず、本年四月に兵庫県尼崎市において発生した列車事故では、緊急消防援助隊等が出勤し、二次災害の危険もあり救助活動が極めて困難な状況下、昼夜を分かたぬ不眠不休の救助活動を実施し、被害の軽減に努めたところであります。

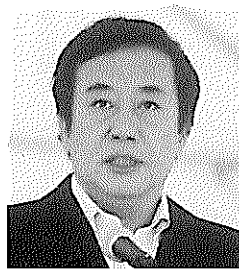
また、本年三月の福岡県西方沖地震や八月一六日の宮城県沖で発生した震度六弱の地震など、安全に対する住民の関心は、一層の高まりを見せ、消防に寄せる期待は、ますます大きくなっております。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に留意の上、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目標を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望いたします。

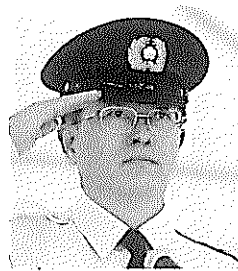
結びに、本日ご列席の皆様のご健康を祈念申し上げます。挨拶といたします。



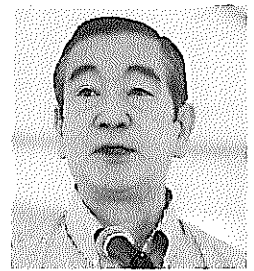
祝 辞
さいたま市議会議長
鶴崎 敏康



祝 辞
埼玉県知事
上田 清司



祝 辞
消防庁長官
板倉 敏和



あいさつ
さいたま市長
相川 宗一



次期開催地あいさつ
札幌市消防局長
鈴木 幸夫



審判長指示
北九州市消防局長
疋田 慶一

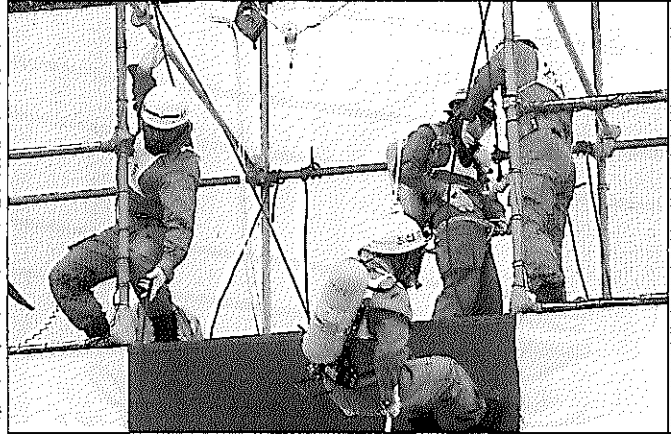


開会宣言・閉会宣言
さいたま市消防局長
中村 武三

(敬称略)

◆陸上の部◆

引揚救助(団体)



五人一組(要救助者を含む)で二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ搬送し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。
 「標準所要時間一五〇秒」

表彰者

【北海道】
 南空知消防組合消防本部

釧路市消防本部

- 仁木 雅浩
- 宮坂 貴史
- 大谷 優
- 大田 泰暢
- 田村 亮太
- 増子 耕介
- 堂下 秀二
- 神山 博光
- 戸田 雄亮

【東北】
 仙台市消防局

新潟市消防局

【関東】
 太田市消防本部

さいたま市消防局

埼玉県中央広域消防本部

柏市消防本部

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

- 川口 真澄
- 小畑 真美
- 橋浦 敦
- 伊藤 歩
- 岡田 拓也
- 須田 厚司
- 鷺津 隆信
- 河内 隆信
- 福原伸太郎
- 高橋 真司
- 若杉 太
- 草間 宏明
- 石井 学
- 坂上 隼祐
- 深須 貞治
- 井達 彰伸
- 市来 大輔
- 角田 実
- 矢嶋 勉
- 金子 知之
- 壘 嘉人
- 杉間 隆宏
- 村口 勝則
- 富田 隆芳
- 七海 光一
- 宮澤 光
- 田中 良忠
- 伊能 雅美
- 山路 利武
- 鞠山 拓史
- 新川 和克
- 駒宮 一王
- 今 巧
- 菊池 伸
- 丸山 敦
- 松岡健太郎
- 池田 博之
- 菊地 悟
- 富屋 貴仁
- 鈴木 宏祐
- 中平 公治
- 大川 亨
- 宮田 昌広
- 市川 哲也

【東海】
 西尾市消防本部

江南市消防本部

【東近畿】
 京都市消防局

和歌山市消防局

【近畿】
 大阪市消防局

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

【中国】
 広島市消防局

宇部市消防本部

- 叶 俊光
- 野村 貴大
- 織田 雄一
- 吉田 智和
- 國元 陽介
- 名倉 充俊
- 前田 毅
- 畑 和
- 奥村 崇
- 鳥谷尾 岳弘
- 中村 賢司
- 山田 賢司
- 多田 栄二
- 木下 徳人
- 萩谷 陽介
- 赤穴 章秀
- 新田 雅信
- 和田 敏彦
- 池田 篤哉
- 田中 宏幸
- 永田 光
- 谷口 真朗
- 木村 信彰
- 高瀬 雅彦
- 木村 純二
- 池宮 晋也
- 濱崎 剛史
- 角野 佳紀
- 森 直樹
- 阪本 周平
- 佐々木 剛毅
- 山口 剛毅
- 松尾 祐二
- 和田 禎二
- 六信 勝之
- 川村 利休
- 松永 上
- 桑原 利休
- 小代田 正也
- 西村 崇
- 松崎 崇

【四国】
 高幡消防組合消防本部

【九州】
 久留米市消防本部

糸島地区消防厚生施設組合糸島消防本部

- 清見 崇
- 前田 良知
- 児玉 好章
- 大崎 一志
- 野坂 洋一
- 保川 仁志
- 横田 卓
- 荒木慎一郎
- 國武 達也
- 平島 雅成
- 平田 英樹
- 福井 康文
- 瀬戸口昌宏
- 浦 勝
- 郷原 真一
- 秋根 一太



ロープブリッジ渡過(個人)

水平に展張された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。
 「標準所要時間二八秒」

表彰者

【北海道】

北留萌消防組合消防本部 瀬川 大貴
上川南部消防事務組合消防本部 佐々木俊一

北十勝消防事務組合消防本部 岩野 宏

【東北】

弘前地区消防事務組合消防本部 齊藤 義晃
秋田市消防本部 那須 暁彦
二ツ井藤里地区行政組合消防本部 佐藤 崇宏
釜石大槌地区行政事務組合消防本部 菊池 悟
石巻地区広域行政事務組合消防本部 阿部 浩二

【関東】

太田市消防本部 赤坂 雅彦
利根沼田広域消防本部 小林 崇紀
新治地方広域事務組合消防本部 嶋田 勇一
足利市消防本部 柏瀬 力
石橋地区消防組合消防本部 永井 剛
吉川松伏消防組合消防本部 杉山 泰人
さいたま市消防局 篠崎 信介
安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 小谷 武夫
君津市消防本部 廣部 辰也
東京消防庁 西村 淳史
大和市消防本部 森 秀二
藤沢市消防本部 相馬 大志
逗子市消防本部 池ヶ谷健市

【東海】

尾三消防本部 須藤 紘史
愛西市消防本部 鈴木 宏行
紀勢地区広域消防組合消防本部 谷口太一郎
紀勢地区広域消防組合消防本部 林 泰央

【東近畿】

白山西川広域消防本部 村井 潤一
京都市消防局 嘉門 晋平

【近畿】

京都市消防局 下釜 丈裕
養父市消防本部 柳生 陽一
神戸市消防局 山下 敬之
豊岡市消防本部 佐古 昌洋
西宮市消防局 松本 孝志

【中国】

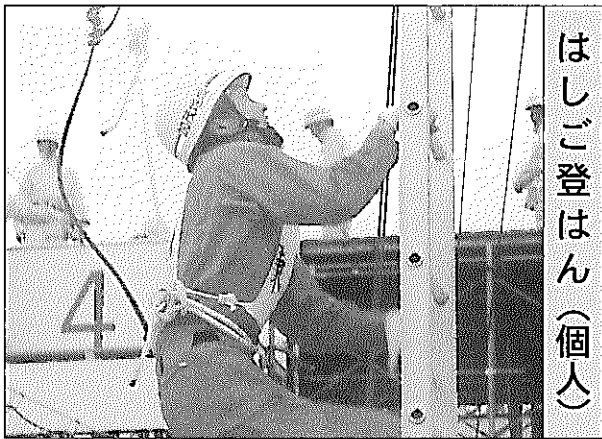
真庭市消防本部 北本 有作
鳥取中部ふるさと広域連合消防局 山本 武志
益田広域消防本部 齊藤源太郎

【四国】

高松市消防局 太田 雅之
宇和島地区広域事務組合消防本部 本田 雅也

【九州】

福岡県南広域消防組合消防本部 田中 宏明
福岡県南広域消防組合消防本部 野上 剛
福岡県南広域消防組合消防本部 泉 一寿
山鹿植木広域行政事務組合消防本部 中野 亘
天草広域連合消防本部 澤田 豊大



はしご登はん(個人)

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

〔標準所要時間(二秒)〕

表彰者

【北海道】

西胆振消防組合消防本部 工藤 政年
檜山広域行政組合消防本部 太田 稔久
大雪消防組合消防本部 古川 孝

【東北】

弘前地区消防事務組合消防本部 村上 晃聖
胆沢地区消防組合消防本部 佐藤 英和
喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 蟹巻 淳
加茂地域消防本部 山崎 祐二

【関東】

桐生広域消防本部 田中 努
前橋市消防本部 大塚 直人
笠間地方広域事務組合消防本部 村上 裕之
芳賀地区広域行政事務組合消防本部 佐藤 千大
南那須地区広域行政事務組合消防本部 久保田宣寿
白岡町消防本部 齋藤 文和
さいたま市消防局 吉田 敏彦
市川市消防局 中山 洋介
印西地区消防組合消防本部 鎌田 雄一
鎌ヶ谷市消防本部 小泉 啓一
東京消防庁 大橋 和雄
東京消防庁 高須 和則

【東海】

田原市消防本部 河合 宏和
岡崎市消防本部 高村 一生
常滑市消防本部 衣川 達也
知多中部広域事務組合消防本部 都築 修治

【東近畿】

京都市消防局 辻横 喬弘
吉野広域行政組合消防本部

【近畿】

香芝・広陵消防組合消防本部 井上 栄次
大阪市消防局 村田 正臣
八尾市消防本部 北御門将志
泉佐野市消防本部 角田 雄亮
神戸市消防局 紀野 英明
今中 憲弘

【中国】

安来市消防本部 坂本 誠治
光地区消防組合消防本部 下村真三郎

【四国】

阿南消防組合消防本部 多田 健作
西予市消防本部 金子 佑樹

【九州】

長崎市消防局 安生地宜信
日向市消防本部 佐藤 哲也
大隅曾於地区消防組合消防本部 安楽 真人
大隅肝属地区消防組合消防本部 郷原 英行



ほふく救出(団体)

三人一組（要救助者を含む）で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。

〔標準所要時間七〇秒〕

表彰者

【北海道】

西胆振消防組合消防本部 結城 勉

工藤 晃也
根本 健二

【東北】

黒石地区消防事務組合消防本部

三上 寛人
高橋 一誠
三橋 憲之

新潟市消防局

山本 健
佐藤 泰浩
五十嵐 正憲

【関東】

さいたま市消防局

大室 正和
村上 剛
蓮見 耕一

さいたま市消防局

大和田健介
小川 重治
斎藤 好秀

所沢市消防本部

富張 修一
藤巻 裕
須田健太郎

東京消防庁

丸本 孝
梅沢 新
田中 寛樹

東山梨行政事務組合東山梨消防本部

前田 修
向山 克也
平山 安仁

【東海】

岐阜市消防本部

西松 勝吾
近松洋一郎
豊田圭太郎

恵那市消防本部

大濱 昌男
小池 彰仁
曾我 宏明

【東近畿】

京都市消防局

八幡市消防本部

【近畿】

大阪市消防局

枚方寝屋川消防組合消防本部

阪口 義博
服部 平
宮芝 紀幸

尼崎市消防局

山内 崇
神尾 和則
池谷 大輔

雲南消防本部

北野 弘之
淀 慎吾
平根 真人

【中国】

松山市消防局

藤原 睦美
力石 徹
森山 淳

【四国】

福岡県南広域消防組合消防本部

西岡 武志
椋名 剛
菅 伊知郎

平戸市消防本部

坂田 悦裕
柳 勇志
佐藤 章

出水地区消防組合消防本部

濱崎 誠
松永倉次郎
針尾 久之

ロープブリッジ救出（団体）



四人一組（要救助者を含む）で、二人が水平に展開された渡過ロープ（二〇メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

〔標準所要時間七五秒〕

表彰者

【北海道】

旭川市消防本部

大石 章広
伊藤 憲宏
和田 竜弥

東十勝消防事務組合消防本部

小山内秀典
姉崎 真路
宮脇 慎二

【東北】

小川 雅紀

平賀・尾上地区消防等事務組合消防本部
葛西 明

盛岡地区広域行政事務組合消防本部

赤平 隆顕
渡辺 信一

南会津地方広域市町村圏組合消防本部

堀間 義和
野辺地 誠
羽澤 充昭

三条市消防本部

五十嵐貴之
荒井 武夫
湯田 実

取手市消防本部

猪股 裕則
赤塚健太郎
井上 稔

【関東】

さいたま市消防局

岡田 直紀
今野 司志
木村 貢

秩父消防本部

竹村 守
梅澤 宏之
柳田 貴剛

入間市消防本部

大西 俊哉
有田 浩之
筈原 孝史

川口市消防本部

倉林 武史
斉藤 孝幸
関根 弘幸

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

中根 敏寛
島崎 勝豊
平澤 克彦

東京消防庁

落合 俊也
秋山 俊文
高津 義男

小泉 真利
安達 徹也
仲台 誠
鈴木 嘉一
岩田 政博
阿部 誠
武田 賢二
平原 弘敏
五十嵐亮策

横浜市消防局

相模原市消防本部

【東海】

知多中部広域事務組合消防本部

丹羽広域事務組合消防本部

【東近畿】

金沢市消防本部

白山石川広域消防本部

吉野広域行政組合消防本部

【近畿】

大阪市消防局

尼崎市消防局

姫路市消防局

- 風間 晋介
- 寺田 康司
- 山崎 浩司
- 大河内 仁
- 小池 亮
- 桐生 成明
- 高野 幸治
- 高山 哲
- 小牧 靖智
- 鈴木 卓也
- 田口 直希
- 渡辺 順也
- 七里 成俊
- 佐塚 友和
- 野倉 大輔
- 宮田 靖大
- 能隅 光顕
- 蔵田 祐司
- 門村 和仁
- 齋藤 雅志
- 小山 雄史
- 下 大介
- 銭谷 政宏
- 中山 康介
- 川口 晴明
- 森口 博司
- 井上 智則
- 榊井 淳司
- 森田 真啓
- 甲斐 武
- 岡本 剛
- 鎌田 健一
- 柳瀬 友彦
- 遠藤 雄史
- 菅崎 晃
- 勝浦 涼平
- 重村 一秀
- 山名 康司
- 杉本 将一
- 西田 和也

【中国】

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

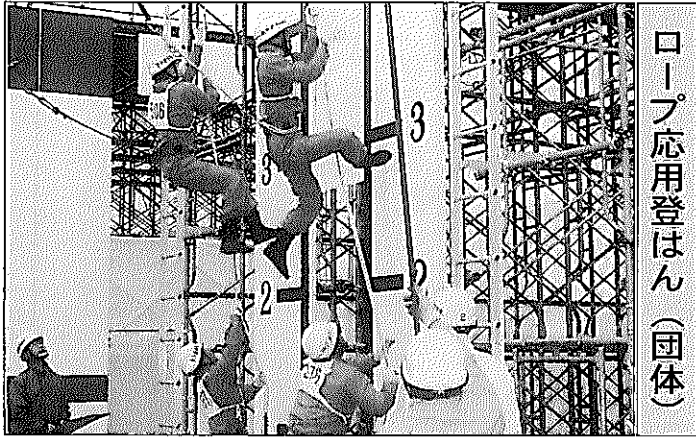
鳥取県西部広域行政管理組合消防局

【九州】

粕屋南部消防本部

人吉下球磨消防組合消防本部

- 貝川 学
- 安達 智之
- 恵美 平
- 藤友 真人
- 青戸 一之
- 高田 一広
- 戸塚 勝彦
- 斎木 誠英
- 宮崎 章宏
- 橋爪 哲平
- 藤瀬 和
- 稲永浩一郎
- 徳田 克則
- 大木 金敏
- 高原 慎二
- 岩本 靖則
- 谷川 正晃



ロープ応用登はん(団体)

表彰者

登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
〔標準所要時間一六秒〕

【東北】

十和田地域広域事務組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部

新発田地域広域事務組合消防本部

【関東】

熊谷地区消防本部

さいたま市消防局

児玉郡市広域消防本部

所沢市消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

八千代市消防本部

諏訪広域消防本部

裾野市消防本部

【東海】

稲沢市消防本部

【東近畿】

高島市消防本部

京丹後市消防本部

【近畿】

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

- 須田山篤史
- 昌山 隆幸
- 矢内 智則
- 今泉 正治
- 市川 晃
- 今井 太一
- 羽鳥 勲
- 三ツ間憲司
- 菅野 義高
- 宇佐見直広
- 森川 信美
- 久保 賢一
- 日高 浩二
- 瀬沼 年広
- 八鍬 和弘
- 大森 燃
- 安齋 武士
- 大倉 豊
- 伊藤 昌幸
- 三井 信二
- 勝又 英也
- 堀井 純
- 谷口 大輔
- 中里 真吾
- 石田 良昭
- 講殿 信也
- 村野 二郎
- 指田 龍
- 森川 武治
- 清水 秀章

神戸市消防局

【中国】

光地区消防組合消防本部

光地区消防組合消防本部

【九州】

直方鞍手広域市町村圏事務組合消防本部

ロープ登はん(個人)



塔上から垂下されたロープを壁面を蹴ったり、足にロープを巻き付けることなく、手だけを使って一五メートル登はんする。
〔標準所要時間一五メートル〕

表彰者

【北海道】

岩見沢地区消防事務組合消防本部

【東北】

荒井 陽介

- 笹倉 隆史
- 豊福 和孝
- 下田晃一郎
- 青木 博志
- 中原 一成
- 兼森 一禎
- 石橋 孝一
- 石田 敦彦

障害突破 (団体)



五人一組(補助者を含む)で四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通る」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間一九五秒】

表彰者

- 遠野地区消防事務組合消防本部 齋藤 武男
- 福島市消防本部 佐藤 信頼
- 上越地域消防事務組合消防本部 江口 貴宏
- 【関東】
- 筑西広域市町村圏事務組合消防本部 飯塚 茂
- 鹿島南部地区消防事務組合消防本部 山王 直希
- 熊谷地区消防本部 町田 一臣
- さいたま市消防局 高垣 克樹
- 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 水尻 淳
- 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 遠藤 真二
- 印西地区消防組合消防本部 稲垣 裕士
- 大和市消防本部 二宮 大輔
- 【東海】
- 四日市市消防本部 松岡 伸年
- 紀勢地区広域消防組合消防本部 浮田 高行
- 【東近畿】
- 金沢市消防本部 山崎 顕男
- 金沢市消防本部 宮本 昇
- 【近畿】
- 大阪市消防局 田中 真也
- 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 清水 秀章
- 大東市消防本部 木村 征一郎
- 大阪狭山市消防本部 芳賀 英洋
- 【中国】
- 益田広域消防本部 清水 英靖
- 萩市消防本部 佐々木 賢二
- 【四国】
- 久万高原町消防本部 高岡 憲一
- 高知市消防局 武西 貴浩
- 【九州】
- 直方鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 石橋 孝一
- 指宿地区消防組合消防本部 岡元 大輔

- 【北海道】
- 札幌市消防局 雨堤 亮
- 旭川市消防本部 酒井 大地
- 旭川市消防本部 山内 知也
- 菅原 純弥
- 菅原 大樹
- 菅原 康明
- 上原 洋平
- 坪川 浩文
- 熊崎 郷
- 清水 宏樹
- 田中 宏樹
- 【東北】
- 塩釜地区消防事務組合消防本部 伊藤 悟史
- 長南 康徳
- 赤間 勝典
- 佐藤 宏
- 小幡 純一
- 大関 淳寛
- 福島市消防本部

- 【関東】
- 稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部 大野 英樹
- 徳田 裕一
- 石塚 弘巳
- 佐藤嘉嗣馬
- 齋藤 康夫
- 塚間 正幸
- 上田 道夫
- 木元 孝行
- 小林 智春
- 平野 享正
- 及川 真樹
- 小川 浩由
- 中山 貴晴
- 山本 武
- 青木 政則
- 濱崎 仁
- 今村 隆二
- 辻本 貴徳
- 佐藤 拓美
- 近藤 俊彦
- 遠藤 天清
- 木村 尚希
- 藤木 聡
- 岡林 健
- 宮平 琢磨
- 川畑 和哉
- 高橋 一平
- 菊地 潤
- 朝倉 慶太
- 白井 龍未
- 小林 秀雄
- 塚田 享太
- 藤巻 琢
- 辻 裕
- 遠藤真太郎
- 【東海】
- 海部南部消防組合消防本部 鈴木 範夫
- 木全 貞能
- 安齋 裕紀
- 阿部 学
- 三瓶 和弥
- 梅津 雅一
- 熊谷地区消防本部
- さいたま市消防局
- 入間東部地区消防組合消防本部
- 東京消防庁
- 藤沢市消防本部
- 大和市消防本部

- 【東近畿】
- 金沢市消防本部 安原 朋宏
- 喜多 信博
- 吉嶋 尚毅
- 山本 篤史
- 干場 隆晴
- 中嶋 宏和
- 山崎 宏二
- 山形 秀和
- 谷川 哲也
- 大坂 易宏
- 小柳 誠
- 濱田 尚也
- 市井 健太
- 栗須 俊光
- 中家 直樹
- 小嶋 悦喜
- 山本 圭一
- 梶谷 猛
- 杉田 卓弘
- 和田 智志
- 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 松井 博
- 山川 勝
- 麻野 浩司
- 中尾 剛志
- 松井 隆一
- 【中国】
- 岡山市消防局 畑 仁一
- 林 毅
- 吉永 広宣
- 大川 修一
- 定廣 靖
- 篠田 豊和
- 岡 浩輝
- 白根 智文
- 若木 正剛
- 桑垣 謙治
- 【四国】
- 徳島中央広域連合消防本部 鈴木 基寛
- 関山 洋平
- 佐藤 洋平
- 安原 朋宏
- 喜多 信博
- 吉嶋 尚毅
- 山本 篤史
- 干場 隆晴
- 中嶋 宏和
- 山崎 宏二
- 山形 秀和
- 谷川 哲也
- 大坂 易宏
- 小柳 誠
- 濱田 尚也
- 市井 健太
- 栗須 俊光
- 中家 直樹
- 小嶋 悦喜
- 山本 圭一
- 梶谷 猛
- 杉田 卓弘
- 和田 智志
- 松井 博
- 山川 勝
- 麻野 浩司
- 中尾 剛志
- 松井 隆一



複合検索(個人)

◆水上の部◆

【九州】

筑紫野太宰府消防組合消防本部

中山 淳史
日浅 敬二
田村 信生
吉本 剛
久保 直弘

石橋 祥吾

安部 敏治

井ノ上 明広

石川 善章

中村 匡志

筑紫野太宰府消防組合消防本部

金子 真之

小方 壽浩

宮本 健志

山内 秀広

小野 慎也

加世田地区消防組合消防本部

西上 大徳

山下 陽輔

清永雄一郎

木戸 開彦

宮内 直樹

マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング4個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。
[標準所要時間四〇秒]

表彰者

【東北】

いわき市消防本部

いわき市消防本部

川口市消防本部

さいたま市消防局

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

田方消防本部

【東海】

知多市消防本部

名古屋消防局

知多市消防本部

【東近畿】

湖南広域行政組合消防本部

京都市消防局

京都市消防局

【近畿】

守口市門真市消防組合消防本部

守口市門真市消防組合消防本部

尼崎市消防局

尼崎市消防局

【中国】

海田地区消防組合消防本部

松江消防本部

松江消防本部

宇和島地区広域事務組合消防本部

【九州】

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

高遊原南消防本部

高遊原南消防本部

空岡 実
猪狩 光博

風間 健次

伊藤 澄雄

伊藤 毅

山口 剛

相良 安彦

西山 公康

篠田 昌裕

安田 隼人

片山 清勝

川端 勝敏

嶋田 貴樹

松川 智則

馬場 大輔

乾 雅法

森岡 弘文

秋田 尚也

四方 司

津森 一宏

袖本 健一

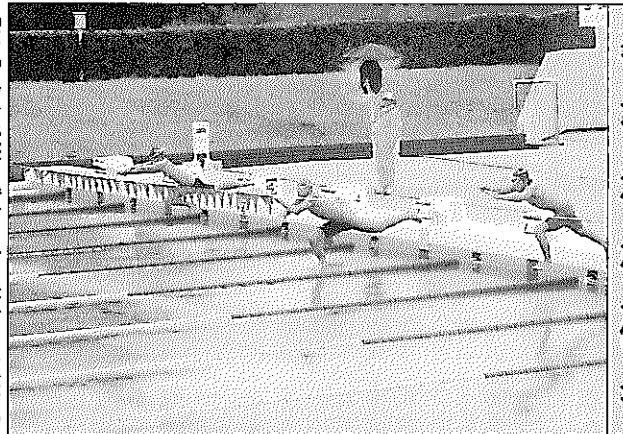
内田 晴之

松雪 竜次

日置 啓一

福岡 雄樹

基本泳法(個人)



「しゅんが飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。
[標準所要時間四〇秒]

表彰者

【東北】

仙台市消防局

新潟市消防局

【関東】

市川市消防局

東京消防庁

横浜消防局

裾野市消防本部

浜松市消防本部

焼津市消防防災局

【東海】

衣浦東部広域連合消防局

岡崎市消防本部

豊田市消防本部

【東近畿】

白山石川広域消防本部

千葉 典史
田中 真

伊藤 隆行

三浦 幸生

澤田 匠

室伏 郷志

稲垣 匡史

岡田 渉

石川 慎弥

岩崎 允史

小嶋 俊輔

小坂 寛之

白山石川広域消防本部

京都市消防局

【近畿】

枚方寝屋川消防組合消防本部

枚方寝屋川消防組合消防本部

尼崎市消防局

高砂市消防本部

【中国】

福山地区消防組合消防局

松江市消防本部

下松市消防本部

【四国】

讃岐地区広域消防本部

山田消防組合消防本部

【九州】

大分市消防局

大隅肝属地区消防組合消防本部

大隅肝属地区消防組合消防本部

木下 康
大橋 史明

西口 幸仁

奥野 義朗

青石 良

田中 健吾

北浦 友一

渡邊 俊郎

増田 宜之

塩田 勇

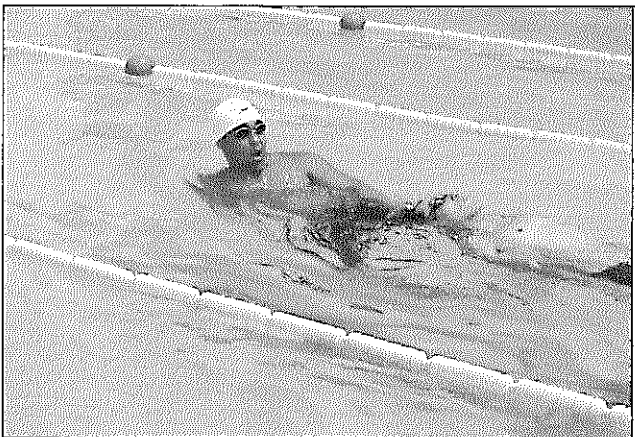
横山 淳一

末松 一彦

西園 康介

中村 隆幸

弱者搬送(団体)



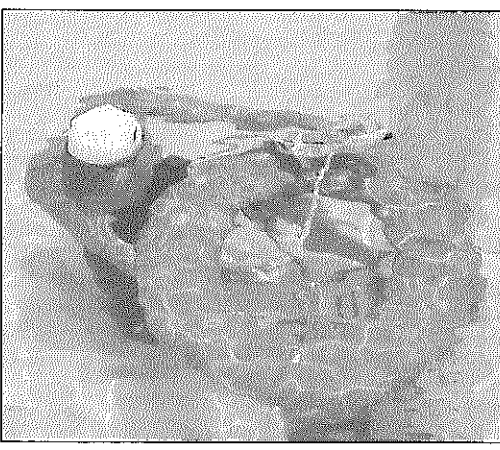
二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「しゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（弱者）を注視しながら近づき、チンブールで確保した後、ヘアーキャリーにより救助する。

〔標準所要時間四二秒〕

表彰者

- 【北海道】 札幌市消防局 阿部 雅之 花田 直人
- 【東北】 福島市消防本部 黒羽 啓之 橋本 信宏
- 【関東】 越谷市消防本部 竹村 俊幸 高橋 佑介 山下 友之 板倉 大芽 三橋 亮 新濱 秀樹 杉阪 大介 麻生 太一 直井 源 中村真由美
- 【東海】 名古屋市消防局 松岡 悟 赤尾 隆光 山田 雅也 林 正彦
- 【東近畿】 名古屋市消防局 黒島 和司 北野 充 彦川 智周 岡村 悦道
- 【近畿】 大阪市消防局 小間坂直也 泉 孝浩
- 守口市門真市消防組合消防本部 吉本 親央 山星 賢一 有田 達洋 野中伸一郎
- 神戸市消防局 山崎 基嗣 堀 秀成
- 【中国】 岡山市消防局

水中結索（団体）



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

〔標準所要時間一〇六秒〕

表彰者

- 広島市消防局 津元 伸太 倉岡 家興
- 【四国】 徳島市消防局 原田 雅弘 松本 理史
- 【九州】 熊本市消防局 古庄 敦 西田 隼人
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 西園 康介 内村 哲也
- 【東北】 いわき市消防本部 鈴木 雅彦 岩倉 一将 中軍 慶之
- 【関東】 船橋市消防局 林 慎二

東京消防庁

東京消防庁

【東海】 名古屋市消防局

岡崎市消防本部

【東近畿】 大津市消防局

【近畿】 大阪市消防局

神戸市消防局

神戸市消防局

【中国】 津山圏域消防組合消防本部

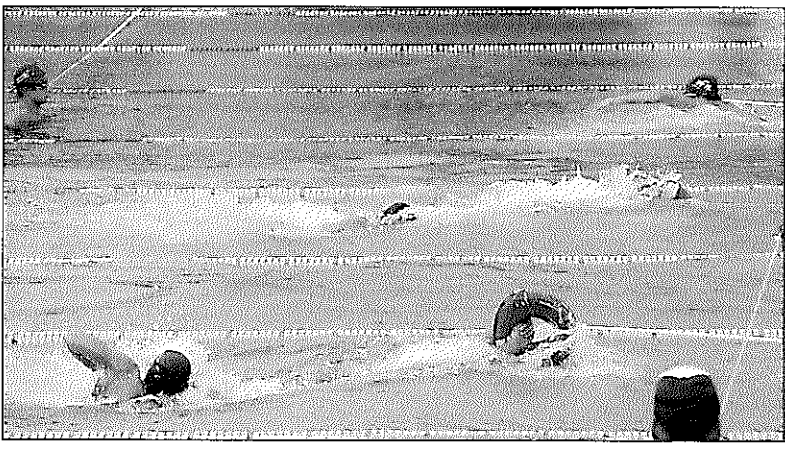
【四国】 高知市消防局

【九州】 長崎市消防局

水俣芦北広域行政事務組合消防本部

- 小森 信秀 秋武 史孝 三浦 幸生 中島 明陽 村上 哲郎 田中 宏樹 提橋 敦司 菊地 太
- 松岡 悟 坂本 和久 大村 研一 中根 肇 榊原 宏和 戸塚 淳哉 澤田 将人 黒島 和司 山中 創
- 堂本 昌裕 泉 良宣 山崎 和幸 有田 達洋 阿部 浩二 小松 康範 笠松 正学 三枝 正平 阿部 徹
- 勝山 智弘 神田 貴章 磯田 基希 森本 真司 吉岡 隆志 山本 和秀
- 野口 卓真 上田 勝海 森 憲一 竹本 高士 坂本 岳 宮島 和也

弱者救助（団体）



三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

〔標準所要時間四三秒〕

表彰者

- 【北海道】 札幌市消防局 河津 勝 竹谷 朋之 高木 正宏
- 【東北】 大船渡地区消防組合消防本部 千葉 善博 田中 和友

【関東】
越谷市消防本部

東京消防庁

横浜市消防局

【東海】
豊田市消防本部

岡崎市消防本部

【東近畿】
大津市消防局

【近畿】
神戸市消防局

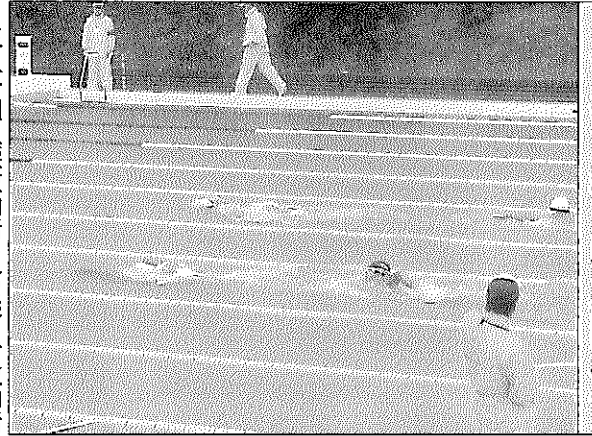
神戸市消防局

【中国】
呉市消防局

【九州】
熊本市消防局

熊本市消防局

人命救助(団体)



三人一組(要救助者を含む)で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリアで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間七三秒】

表彰者

【北海道】
札幌市消防局

花田 直人
竹谷 朋之
高木 正宏

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

福田 智裕
岡本 健児
木村 茂

【関東】
東京消防庁

渡邊 真
勝田 崇
宇田川裕史
秋山 和彦

横浜市消防局

【東海】
名古屋消防局

三留 崇浩
吉田 敦宣
神谷 尚樹
重野 公孝
林 正彦

【東近畿】
京都市消防局

大橋 史明
彦川 智周
藤田 浩明

【近畿】
大阪市消防局

西川 暢彦
岡田 利道
平松 拓也
三枝 正平
宮村 利幸
吉田 知展

神戸市消防局

水中検索救助(団体)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一〇二秒】

表彰者

【東北】
いわき市消防本部

空岡 実
岩倉 一将

【関東】
さいたま市消防局

中軍 慶之
猪狩 光博
山下 友之
山名 秀一
秋吉 勉
伊藤 澄雄

横須賀市消防局

佐藤 正和
木村 洋士
藤川 幸博

【東海】
大垣消防組合消防本部

中川 雄二
森 郁介
横山 裕一
中島 宏夫

【東近畿】
京都市消防局

嶋田 貴樹
井上 武
佐藤 正和
井上 健司

【近畿】
大阪市消防局

笹尾 幸司
大濱修太郎
東園 絢也
宮崎 裕行
高志武敏浩
秋田 尚也
森岡 弘文
泉 勇太

尼崎市消防局

【中国】
松江市消防本部

井ノ下秀彦
渡邊 俊郎
安部 伸
津森 一宏

【四国】
松山市消防局

小山 哲史
菅 亮輔
高橋 裕一
渡部 幸雄

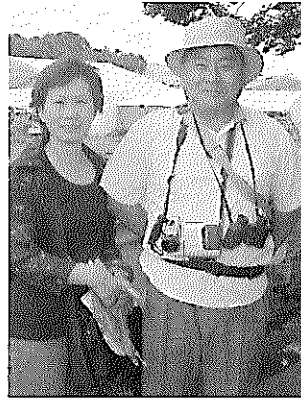
【九州】
人吉下球磨消防組合消防本部

藤 雅彰
中川 博文
西 隆浩
藤 欣弥

インタビュー

河合正己さん・加代子さん

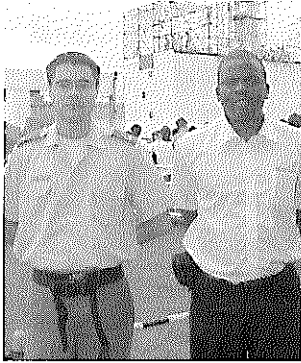
台風が心配だったので、昨日の夜10時に車で愛知の自宅を出発し、車中で時間調整をしながら、今朝到着しました。予定どおりに大会が開催されたことに喜んでいいます。子供二人（兄・弟）が救助隊員で、兄の方は過去に4年連続の出場経験があります。今大会は2回目の出場となった弟の応援に来ました。悪天候ではありませんが、子供の活躍を見て気分は快晴です。



河合正己さん・加代子さん

ポリス・ジョヴァニ・カノさん(エクアドル)、バーナーバス・ニヤハナナさん(ジンバブエ) このような大会は非常に有意義であり、各消防の優れた技術をお互いに分かち合えることは素晴らしい、何か大きな災害が起きた時でもすぐに対応できることと思います。(左)

消防の原点であるチームワークがとても良く、隊員の動きがスピーディー且つスムーズであり、非常に感心しました。(右)



ポリス・ジョヴァニ・カノさん(エクアドル)、バーナーバス・ニヤハナナさん(ジンバブエ)

清水美幸さん・近藤恵子さん

昨日から台風の関係で大会の開催を心配していましたが、今朝、予定どおり開催するとの連絡が入り、ワクワクしながら応援に駆け付けました。悪天候の中なので、怪我をしないようにがんばって欲しいです。また、これからも体に気を付けて活躍して欲しいと思います。



清水美幸さん(左)・近藤恵子さん(右)

水野優輝くん・美帆さん

誰からも注目的になってきているチビッコ発見！将来のハイパーレスキュー見参！この隊員服は特別に仕立てたものだそうです。お母さんによると優輝君は、1歳半で言葉がしゃべれるようになってからずっと消防士が好きで、将来はハイパーレスキューになるって言っているそうです。カメラを向けると、もちろん『敬礼・ピシッ』でした。



水野美帆さん(右)・優輝くん(左)

大宮西高校の皆さん

学校で救助大会のボランティア募集が出ており、今日は開催本部の担当として参加しています。消防のイメージは

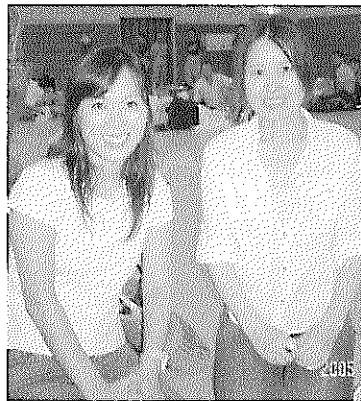
「マッチョ！」この一言に尽きます。消防フェアでの救急の体験をしました。今後のためにとても役に立つと思います。



田中誠さん・佐藤理友さん・西川真世さん・高橋かすみさん・小山早季さん・前島愛子さん

管野さん・佐藤さん

友人がこの大会に選手として出場するので応援に来ました。訓練しているところを見るのも初めてなんです、動きが早くて手品しているみたいでビックリです。普段から身体を鍛え、どんな災害の時にも救助できるよう訓練している姿がすばらしいし、隊員の方も命がけでやる大変な仕事だと思いました。

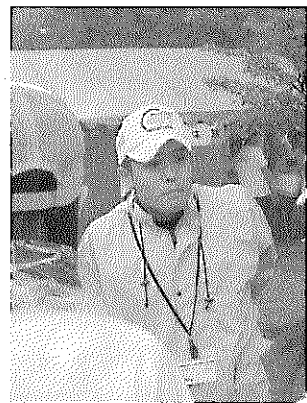


管野さん(左) 佐藤さん(右)

さいたま市消防局予防課 村上祐司さん

積極的な学生さんばかりで非常に助かっています。中には、将来救急隊員を目指している学生もいて、そういった子は優先的に応急処置コーナーに配置してもらいました。このイベントを非常に盛り上げてくれていて感謝しています。

昨日まで市民からの問合せうなぎ登りの状態だったのですが、この天候で多くのイベントも中止になってしまい、たくさんの方が見送られたのかなと思うと非常に残念です。



さいたま市消防局予防課 村上祐司さん



さいたま市女性消防分団長 土橋紀美子さん(前列左から2人目)

さいたま市女性消防分団長 土橋紀美子さん 私たちはボランティア消防隊として約16年間活動してきましたが、昨年の政令市移行を契機に「さいたま市女性消防分団」として地域活動に積極的に携わっています。今回は来賓の案内や消防フェアの運営要因として参加しています。私も以前、全国消防ポンプ操法大会に出場した経験があるのですが、その時の緊張感を出します。全国の選りすぐりの隊員の方々なんです、よね、緊張感が伝わってくるようです。こんな雨にも拘らず日頃の訓練成果を発揮されているのは凄いなと思います。頑張ってください。

慈恩寺放課後児童クラブの皆さん

雨の中、たくさんのチビッコが駆け付けてくれました。消防士さんでどう思う？の質問に「かっこいい！」「かっこいい！」の言葉が機関銃のように二人の男の子が「大きくなったら消防士になりたいです。」と言っていました。かっこよくなって人のためになるからなんだそうです。将来が楽しみです。



慈恩寺放課後児童クラブのみんな

岩槻商業高校の皆さん

兄は以前、消防職員でした。母の具合が急に悪くなり私は慌てるばかりでもできませんでした。その時、落ち着いて母の手当てをしていた兄を見てすごいと思いました。そんな兄をとて尊敬しています。(木村さん)

救助大会を見るのは初めてですが、女性の方も出ていたんですか？私にもっと女性の方に頑張ってもらいたいです。具合の悪いときなど、状態を伝える時には男性よりどちらかというと女性の方が話しやすいし、「消防」と聞くと男性ばかりのイメージがあるのでもっと女性が増えてくれたらいいなと思いました。隊員の

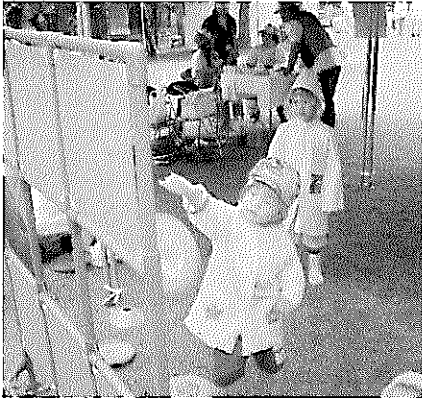
方が動きが機敏なのにもかかわらず、周りへの気配りもできているのに感心しびっくりしました。これがチームワークなんだなと実感しました。実際に訓練している隊員の方を見るのができて良かったです。煙体験も貴重な経験になりました。(鈴木さん)



(左から) 石橋 霞さん・木村美保子さん・鈴木真樹子さん・小林由季さん

さとう けいたくん

(消防フェアで、自分で絵を書いてペラントを作ったり、フリスビーのストラックアウトしたりと、とても楽しかったそうです。けいた君に大会を見た感想を尋ねると・・・)「訓練をする救助隊員を見て、がんばってるなあと思ってたあ！」



さとう けいた君

人命救助に

熱い血潮を燃やし続ける

消防士達におくる

財団法人全国消防協会の 全国消防グループ保険

(生命保険・損害保険)

財団法人全国消防協会は消防職員皆様の福利厚生事業として、

「割安な保険料で大きな保障を」を合言葉に

消防職員のために特に開発した様々な保険商品をご提案し、

全国で約5万人以上の消防職員とご家族に加入していただいています。

また、この保険事業から得られる収益は、

消防救助技術大会の開催などの公益事業に大きく活かされています。

財団法人全国消防協会の保険に関するお問い合わせは

電話 03-3234-1321 グループ保険担当まで

大会を支えてくれた皆さん

一刻と接近する台風11号、時折強く降りつける雨。第34回全国消防救助技術大会の運営は「悪条件」との闘いでした。「全国から選ばれた精鋭の救助隊員829名には精一杯の『場』を提供したい。」大会事務局の駒崎直己消防司令、永堀満消防司令が苦悩に満ちた表情で空を睥む・・・。

しかし、悪天候を吹き飛ばすごとく、大会会場には多くの市民が訪れました。来場者のみなさんは全国の隊員の訓練披露に驚きの声を上げると共に、その多くが会場に併設された「さいたま市消防フェア2005」にも足を運ばれていました。

悪天候のため、一部のイベントが中止される中ではありましたが、学生ボランティアを中心とする運営関係者は元気に満ち溢れていました。



イベント会場へ向かうとまず、物産展コーナーが来場者を迎えてくれます。地域色豊かなお菓子などが並び、いい匂いが漂います。お昼には早いのに「まずは少し食べてからっ！」と足が止まります。



イベント会場では県内の各団体の皆さんが子供たちのために準備した楽しいコーナーがいっぱい。会場一番奥の目白大学サークル有志による「ストラックアウト」コーナーと「ペンダント、キーホルダーを作る」コーナーも子供たちでテントが埋まっています。メンバーの



リーダー的存在である目白大学3年生、里村拓哉さんは「メンバーは学内でのボランティア公募で集まりました。企画段階からみんなで議論して今日のコーナーを作ったんです。テーマとしては、子供たちに夏休みの宿題と絡めて①自由研究の題材を提供しよう、②絵日記の題材を提供しよう、そんな思いでした。最初は消火活動に絡めて水鉄砲による射的も考えたんですが、この水鉄砲がうまく作れなくて(笑)」とにこやかに語ってくれました。実は目白大学の文化祭には、さいたま市の消防職員の皆さんがボランティアで協力、参加されているそうで、以前からお付き合いがあるとのこと。全国消防救助技術大会を目の当たりにして里村さんは「とにかく休つきに圧倒されます！」消防職員を目指してみませんか？との問いには「少し自信がないなあ」と照れ笑いでした。

すぐ隣には「119番通報体験」コーナー。ここはさいたま市消防局の指令課の皆さんと、高校生ボランティアの皆さんが和やかに運営されていました。市立浦和南高校2年生の立原沙緒里さんは「私は学校の掲示板に張られた募集案内を見て友達と参加しました。ここでは、並ばれる方の整理などを担当しています。仕事の合間に職員の方から消防の指令センターにも女性の力が必要なんだよって話を聞きました。でもすごく慌てて通報される方も多くて大変なんだそうですね。お話を聞いているうちに消防の仕事をやってみたいなあって気持ちになってきました。」とニコニコ。続けて「1つのことを色々な人たちと一緒にやるのってすごくおもしろい！こういうのを連帯感が生まれるっていうのかな。さすがに未来の女性消防士、しっかりしてます。ともにコーナーを担当されたさいたま市消防局の高橋一雄さんも「制服職員のみでなく、若いボランティアのみなさんと一緒にさせてもらうことで非常に士気が高揚しているように思います。いい意味の緊張ですね。それに若い感性、自由な発想にたびたび驚かされ、目からうろこって

場面もありますよ。広く市民の皆さんにPRしていくにあたって、今後このような取組ができれば、われわれももっと成長できるんじゃないかって気がします。」と語ってくれました。



立原沙緒里さん (前列左端) ・ 高橋一雄さん (後列右端)

応急手当コーナーでは何やら人だかり・・・。学生ボランティアの皆さんが空き時間を利用して心肺蘇生の講習を受けていました。仲間の失敗を見て笑うもいざ自分となるとなかなか上手にはいかないものです。市民の方々も多く参加しておられ、中でも印象的だったのが家族で来られた黒田 新さん。講習後も熱心に質問しておられました。お話を伺うと「私は耳が不自由なんです。二人の子供のためにもこうした数少ないチャンスをお断りしようと思いましたが、必ず役に立つと思います。」さらに、「消防の方々には私達のような耳の不自由な人たちとの緊急時のコミュニケーションの向上をお願いしたいです。」と貴重な意見も頂きました。



黒田 新さん（写真右奥）

会場には市民向けの防災・避難用品がたくさん展示されており、子供たちの横でお母さん方が興味津々。そんなテントに軒を連ねて高度な器材も・・・こちらは会場を訪れた「本職さん」が食い入るように見ていました。その中に埼玉県



防災航空センターのテントが・・・。行田市消防本部から埼玉県防災航空隊に出向しているという隊員の松村雄史さんにお話を伺うと、埼玉県防災航空センターも市民PRに力を入れているが中々機会が少ないとのこと。「今日は全国から消防職員の方が集まられているので、日常業務や訓練についての質問が多いです。」

子供さんはPRビデオを見て、お兄さんもヘリコプターに乗るのおって無邪気に聞いてきますよね。」と語ってくれました。



松村雄史さん（写真右）

会場のメインステージでは、テントに溜まった雨で大変！でも、消防音楽隊の演奏などに続いて子供たちの「見沼太鼓」や「キッズダンス」が披露されていました。躍動感あふれるリズム、ダンス。大会で賞を取るだけあって、さすがのステージです。水上会場で披露されたクハイ・ハラウ・オ・カプアオカナウパカに



よるフラも圧巻！このチーム名は、ハワイにいるフラダンスの先生に名づけてもらったそうで、メンバーは、小学校3年生から6年生までで、相模原を拠点に週1回1時間練習しているそうです。感想を聞くと「今年の夏は、返子マリーナや地域のお祭りでもダンスを披露しました。今日は9名で日頃練習しているダンスを精一杯披露しました。女性のフラダンス「ケーキフラ」を披露しましたが、男性の「カネフラ」という踊りもあるんです。消防官の皆さんは逞しい体をされているので、カネフラに挑戦してほしいなあ。きつとかっこいいと思います。」と微笑んでくれました。インストラクターの井上美菜さんは「今日の水上での訓練を見て、とても頼もしく感じました。海やプールなどでは消防の方々のお世話にならないように注意したいと思います。」と力強く語ってくれました。

悪天候にもかかわらず、明るい笑顔で雨を吹き飛ばし、大会を支えてくれた皆さん。本当にお疲れ様でした。



大会ダイジェスト



第24号 平成17年9月25日発行

編集 発行 (財)全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
(7-pannetto麹町ビル) 電話 03(3234)1321(代)